

大相撲 石岡場所

岡秘書広聴課
Tel 23-7274

石岡に響く、
力と技の
ぶつかり合い！

主催：大相撲石岡場所実行委員会
後援：石岡市・石岡市観光協会・石岡商工会議所・
石岡市八郷商工会

4月20日茨城電設スポーツパーク石岡で「大相撲石岡場所」が開催され、約3000人が来場しました。普段は間近で見ることができない力士の勇姿を一目見ようと、幅広い世代の人々が訪れ、会場は開始直後からにぎわいを見せました。

会場では、力士たちの堂々とした所作や美しい動きが披露され、相撲の伝統文化としての魅力が感じられました。土俵入りでは大きな拍手が送られ、取組が始まると、力士同士が激しくぶつかり合う迫力ある攻防に会場全体が引き込まれました。体と体がぶつかる重い音が響き、勝負が決まるたびに大きな歓声と拍手が湧き起こりました。

また、子どもたちと力士がふれあう場面では、会場が和やかな雰囲気になります。笑顔が広がりました。相撲の迫力と親しみやすさの両方を感じられる、貴重な機会となりました。

相撲の魅力について ふれてみよう

歴史

①日本最古の国技

相撲の起源は古く、1,500年以上の歴史を持ち、その年の農作物の収穫を占う祭りの中で行われた神事であり、人々は五穀豊穡の願いを込めて行われていました。



精神

②礼法を重んじる

華やかな格式美と格式ある礼法を重んじ、常に相手への敬意を大切にしています。土俵上での力士の所作すべてには「神にささげる」という意味が込められています。



魅力

③力と技のぶつかり合い

体と体がぶつかり合う力強さや、巧みな技や駆け引きも求められ、土俵上では全身勝負が繰り広げられ、その迫力と奥深さが、多くの人を魅了します。





知っておきたい 相撲の基本

土俵

土俵には、固まりやすい粘土質と柔らかい砂質の「荒木田土」が使用されており、直径は4.55mの円形が採用されています。



決まり手

決まり手は、しかけた力士によって勝ちが決まったときの技のことを指し、現在決まり手は八十二手あります。

決まり手の詳細は
こちらから▶



番付

力士の地位と順番を示したもので、本場所の成績によって翌場所の番付が決定されます。



※相撲に関する詳細は、日本相撲協会公式サイトから▶

